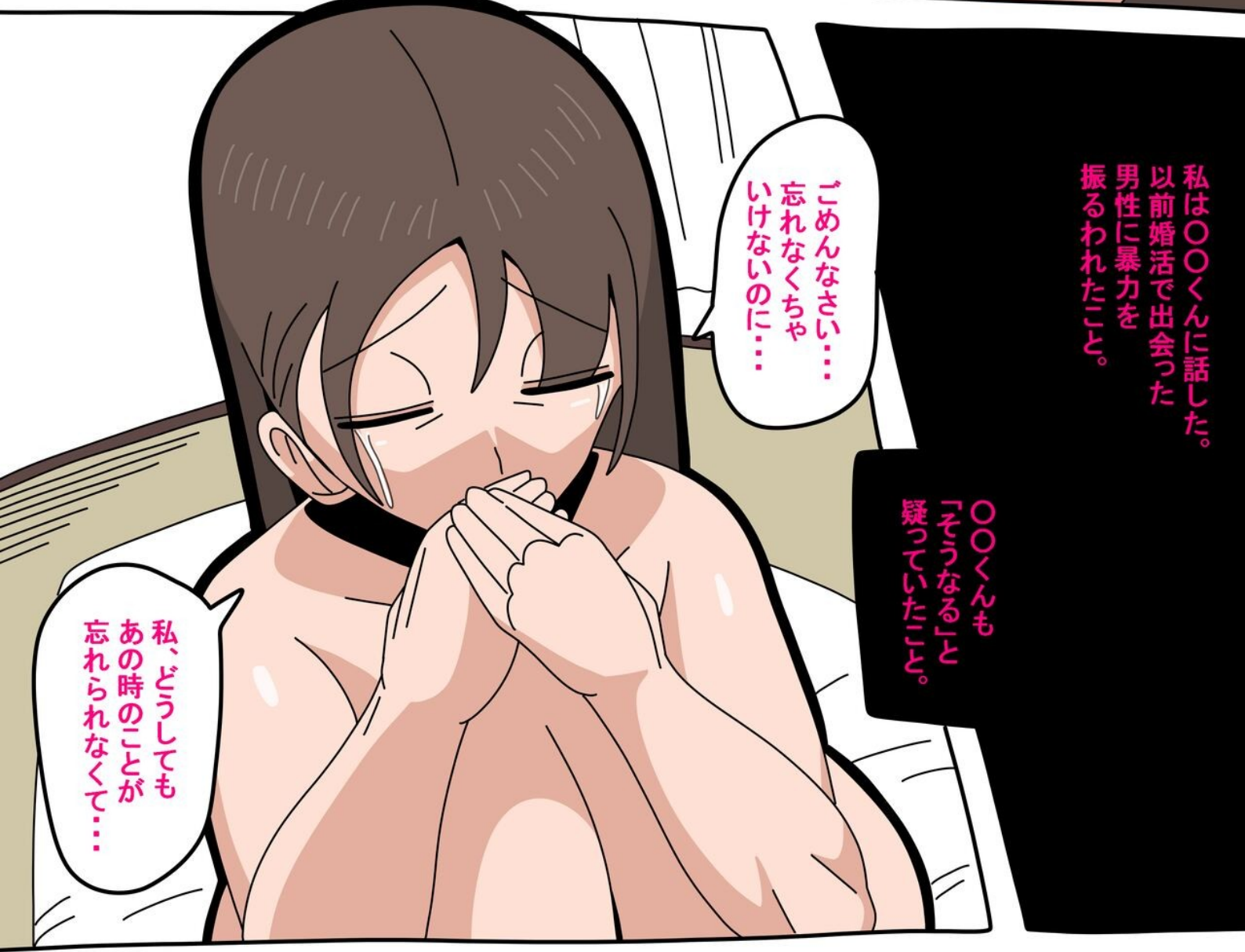




なにかありましたか？  
その…なんとというか、  
最近文代さん  
なにか考えてるように  
みえるというか…

…あの…文代さん？  
最近思ってたん  
ですけど…



「ごめんなさい…  
忘れなくちゃ  
いけないのに…」

〇〇くんも  
「そうなる」と  
疑っていたこと。

私は〇〇くんに話した。  
以前婚活で出会った  
男性に暴力を  
振るわれたこと。

私、どうしても  
あの時のことが  
忘れられなくて…



忘れようと  
しなくても  
いいですよ。



23:37

その…無理に  
忘れようとするのも、  
文代さんが  
疲れちゃいそうだし…

だから…  
無理に忘れようと  
しなくても  
いいっていいか…

…でも、  
話してくれて  
嬉しいです！



それ以上〇〇くんは  
なにも言わなかった。

その後は軽い世間話や  
最近あった出来事などを  
話し…

私の中にあつた  
不安が少し  
晴れたような気がした。



あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

文代さん……ッ！

文代さんの  
嫌な記憶を  
忘れちゃうぐらい……

あッッ

あッッ

あッッ

僕が文代さんを  
幸せにします！

あッッ  
あッッ

あッッ



いっぱい美味しい物食べたり  
いろんな所に行ったり  
いろんなもの見たり……

エ……エッチなこと  
でいっぱい気持ち  
良くなったり……

あッッ

あッッ

あッッ  
あッッ





文代さん...  
文代さあんッ!

おッ  
はッ  
はッ

好きッ  
○○くん  
好きッ

お...ッ!!  
まだ出るッ!

○○くんも  
○○くんの  
おちんちんも  
大好きッ

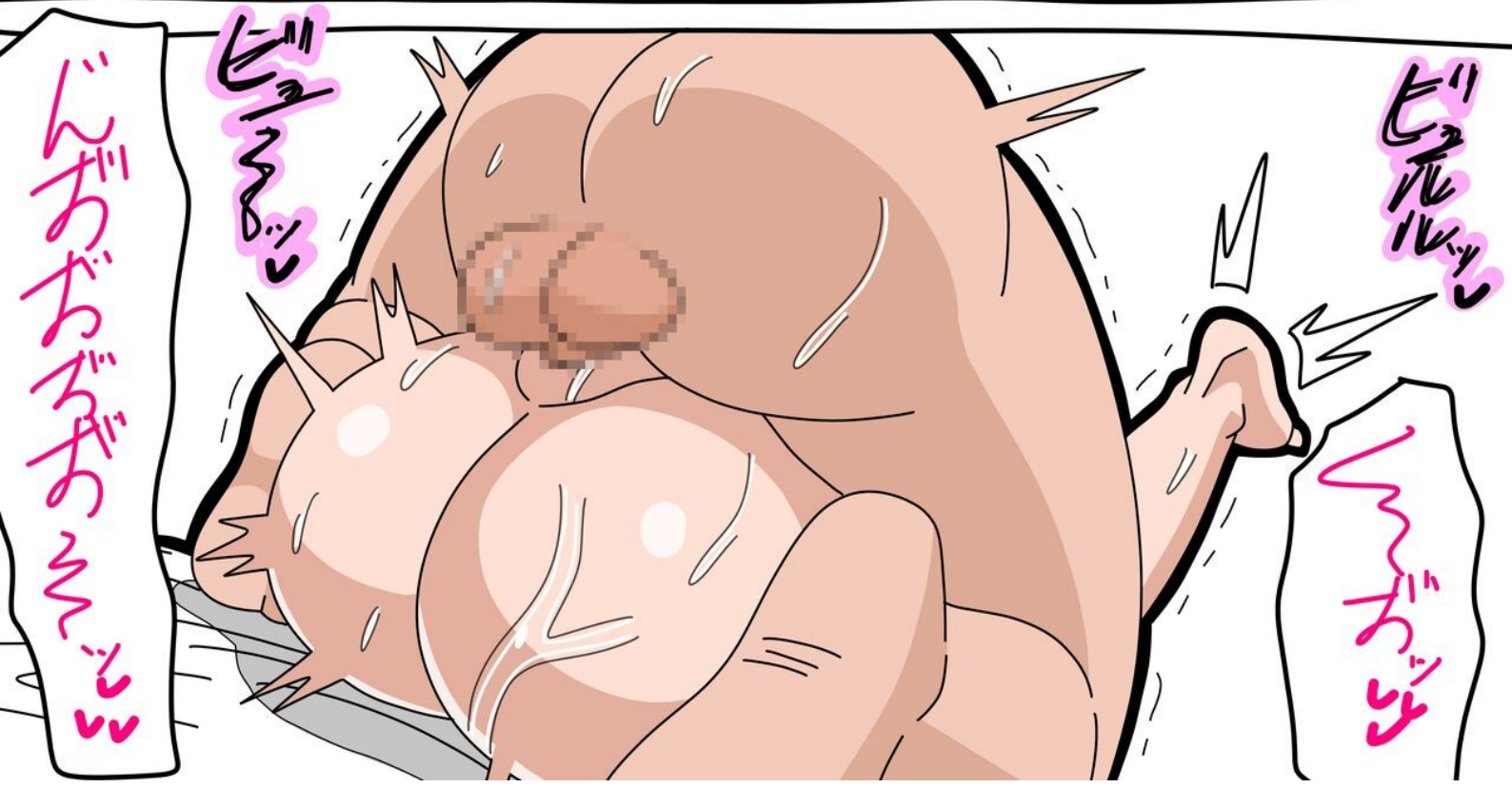
はッ

はッ

はッ

はッ  
はッ

はッ  
はッ





勢いで十回も  
しちゃいましたね…

うん、すっごく  
気持ちよかったです…

…おくん

どうしたの  
文代さん？

なんでもない



ふ、文代さん？！

翌朝

あつ、  
おはよ  
〇〇くん♪

実はその...  
〇〇くんが  
喜んでくれると  
思ってたので  
買ってみたの...

ななな...  
なんですかその  
エッチな水着は...!!

あ  
ん  
じ  
し

あ  
ん  
じ  
し

ん  
じ  
し

ニルルッ

ん  
じ  
し

も  
じ  
ゃ

ん  
じ  
し





あッッ

あッッ

あッッ

朝っぱらから文代さんの  
ヌルヌルおまんこ  
爆乳が味わえるなんて……ッ

俺……本当に  
幸せですッ!

文代さん……  
本当に中に  
出して  
いいんですか?

いいよッ  
そのまま  
中に出してッ

ほッッ  
ほッッ

